

## 臨床研究へのご協力をお願い

心臓超音波検査は簡便で非侵襲的に、また被爆なしに心臓の画像データを得ることができる検査です。そのためそのデータを有効に活用することができれば多くの患者様が利益を得られる可能性があります。

検査科心臓超音波検査室では「右室容量負荷が右室機能および右室心筋動態へ与える影響の解明」をテーマに、診療情報を使用させていただき研究を実施いたします。以下の内容をご確認いただき研究へのご協力をお願いいたします。

**課題名：**右室容量負荷が右室機能および右室心筋動態へ与える影響の解明に関する研究

**研究の意義・目的：**右室への血液量が増加し、右室が大きくなることを右室容量負荷といいます。右室は比較的容量負荷に適応できる心腔といわれていますが、右室機能が低下する例も存在します。本研究の目的は右室容量負荷が右室機能に与える影響を超音波検査学的手法により評価し解明することです。

**研究の対象：**2018年4月1日から2019年12月31日までの期間に検査科心臓超音波検査室にて診療上必要な医師の指示に基づく心臓超音波検査を施行した心房中隔欠損症および肺動脈弁逆流症の患者様です。

**研究に利用する情報：**必要な診療上で得られた超音波画像、および診療録にて得られる情報（身長や体重、血圧、SpO2などの身体的・理学的所見、臨床経過、手術情報など）

**結果の報告：**統計学的手法でデータの評価を行います。結果に関しては、データの集計・検討結果のみを個人情報情報が特定されない形で報告いたします。

本研究は「ヘルシンキ宣言」及び文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学的研究に関する倫理的指針」に則り実施されます。患者様の個人が特定できる情報とは切り離し、厳重に管理した上で個人情報を使用するため、個人情報が外部に漏れることは一切ありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は学会や学術雑誌で発表されますが、患者様個人を特定できる情報は一切利用いたしません。本研究は必要診療上で得られる既存情報のみを使用するため、新たに費用が発生することなく、また謝礼等もございません。

本研究の対象となる患者様でご自身やお子様の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までお申し出ください。その場合には患者様のすべての情報を使用することはいたしません。患者様が情報利用の拒否をされたことで診療上の不利益を得ることは一切ございません。尚、検討が進み統計処理が行われた場合や、公表された場合には情報を削除できないことがありますのでご了承ください。

2019年12月



連絡先 研究責任者 検査科 齊藤 央  
地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
Tel : 045-711-2351 Fax : 045-721-3324

総務課内倫理委員会事務局  
Tel : 045-711-2351 内 2212